



取扱説明書

Offset Mower

オフセットモア

オフセットモア

KZL146G

KZL146Y

KZL146GS

KZL146YS

KZL166G

KZL166Y



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ず**本取扱説明書**をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔


目次

はじめに.....	1
安全に作業をするために.....	2
安全銘板の貼り付け位置.....	8
保証とサービスについて.....	9
◎保証書について.....	9
◎アフターサービスについて.....	9
◎補修用部品の供給年限について.....	9
各部の名称.....	10
装着前の準備.....	11
シリンダストップの取扱方法.....	13
スタンドの取扱方法.....	13
入力軸とトップ・ロワピン位置の選択.....	14
トラクタへの着脱方法.....	15
I. 装着方法(作業前には、必ずエンジンを停止してください).....	15
II. 取り外し方(作業前には、必ずエンジンを停止してください).....	19
ユニバーサルジョイントの切断方法.....	21
刈り高さの調整方法.....	22
作業前の点検.....	23
運転及び刈り取り作業について.....	23
◎移動と圃場への出入りのしかた.....	23
◎作業のしかた.....	24
◎作業上の注意.....	27
保守管理について.....	28
◎Vベルトの張り調整.....	28
◎ナイフの交換時期.....	28
◎ナイフの組みつけについて.....	29
◎作業シーズン中.....	29
◎作業シーズン終了後.....	30
◎オイル交換及びグリース注油について.....	30
◎廃油処理について.....	32
トラブルの原因と処置方法.....	33
主要諸元.....	34

ササキ商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、オフセットモアの取扱方法と、使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟読するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、常に最良の状態でお使いください。
- ◎ このオフセットモアは、雑草を刈り取る機械です。その他の目的で使用しないでください。
- ◎ お読みになった後は、必ず製品に近接して保管してください。
- ◎ 本製品を貸与または譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社あるいは当社の特約店・販売店にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本商品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、または、お近くの特約店・販売店・JAにご相談ください。
- ◎  付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。



注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

重要


注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものをあらわします。

補足

その他、使用上役にたつ補足説明をあらわします。

- ◎ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「**安全に作業するために**」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業をおこなってください。安全に作業するために、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

◎一般的な注意事項

警告 こんな時は作業しない

- ◇過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- ◇酒を飲んだとき。
- ◇妊娠しているとき。
- ◇18歳未満の人。



警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。
ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりするおそれがあります。



警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の損傷をまねくおそれがあります。

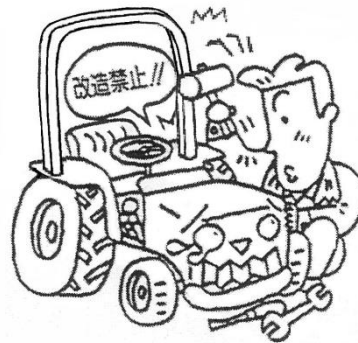


⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。



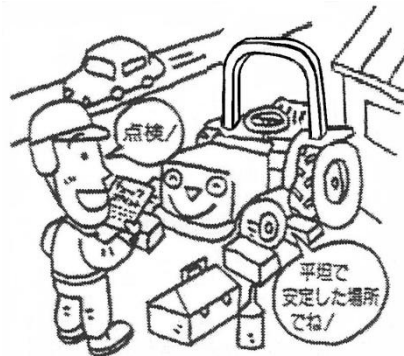
◎作業の前に

⚠ 警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、トラクタの前輪には車止めをして点検整備してください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

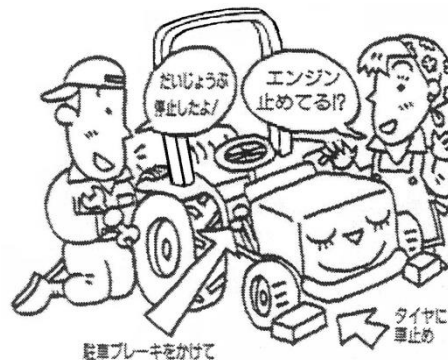


⚠ 警告 点検整備中はエンジンを停止する

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇ 作業の前には、点検・整備をおこなってください。
- ◇ 各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。
- ◇ カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎トラクタへの着脱

⚠ 危険 運転時はジョイントカバーを外さない

運転時はユニバーサルジョイントのカバーを外さないでください

【守らないと】

ユニバーサルジョイントに巻き込まれて、傷害事故を起こすおそれがあります。



⚠ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行なう

作業機の着脱は、平坦で安定した場所でおこなってください。
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故をおこすおそれがあります。



⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れたりしない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故をおこすおそれがあります。



⚠ 警告 重い作業機をつけるときはウェイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウェイトをつけてバランスを保ってください。

【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇ トラクタから離れるときは、エンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、PTO変速を中立にしてください。
- ◇ 2人以上で作業をおこなう場合は、互いに合図・確認をしあって作業してください。
- ◇ ユニバーサルジョイントの止めピンが、確実に軸の溝にはまっているか確認してください。
- ◇ 取り付け部のピンが、すべて確実に装着されているか確認してください。

◎路上走行

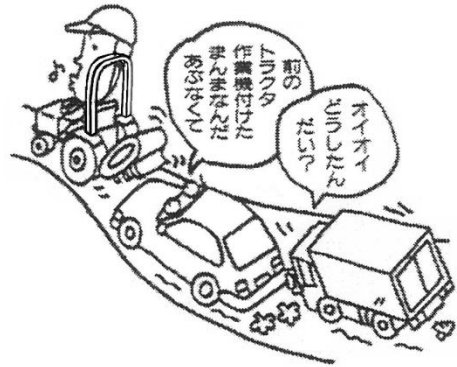
⚠ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路運送車両法違反です。

交通事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇ トラクタに運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇ 作業機には 乗らないでください。
- ◇ 作業機の PTO 回転を止めてから走行してください。
- ◇ トラクタの落下速度調整ハンドルを回して、必ず油圧ロックをしてください。
- ◇ 旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇ 作業機を装着した時、機体寸法が大きくなるので、走行時は十分注意してください。
- ◇ 溝のある農道や、両側が傾斜している農道では、路肩に十分注意して移動してください。

◎圃場への出入り

⚠ 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、

畦や段差に対して直角に進んでください。

圃場から出るときも同様に、速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、

畦や段差に対して直角に進んでください。

急な坂などでは無理をせず、後退して圃場から出てください。

【守らないと】

畦や段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒するおそれがあります。

畦や段差に対して作業機を下側にすると、転倒するおそれがあります。

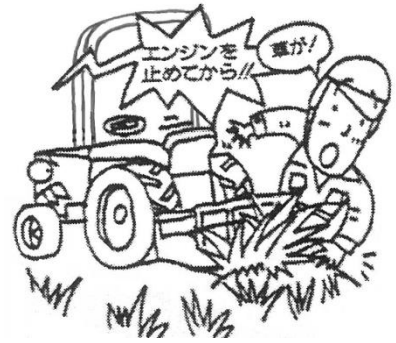
◎作業をしているとき

⚠ 警告 回転部(ツメ・刃、軸等)に巻き付いた草等を取るときはエンジン停止

回転部(ツメ・刃、軸等)に巻き付いた草等を取るときは、トラクタのエンジンを停止してください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



⚠ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を、高速回転で使用しないでください。
作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



⚠ 注意

- ◇ 補助作業者がある場合は、お互いに動作ごとに合図をかわしてください。
- ◇ 回転部分や動くところには触れないでください。

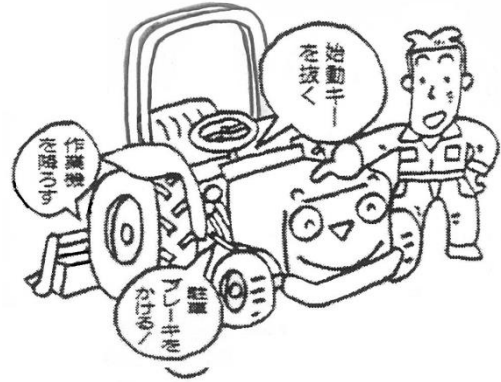
◎トラクタを駐停車するとき

⚠ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、昇降レバーで作業機を下げて、エンジンをとめて、始動キーを抜き、必ず駐車ブレーキを掛け、車止めをしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



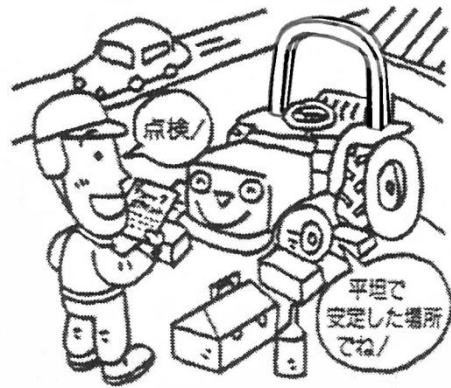
◎点検や格納のとき

⚠ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行なう

機械を点検・整備・格納をするときは、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け、車止めをしてください。

【守らないと】

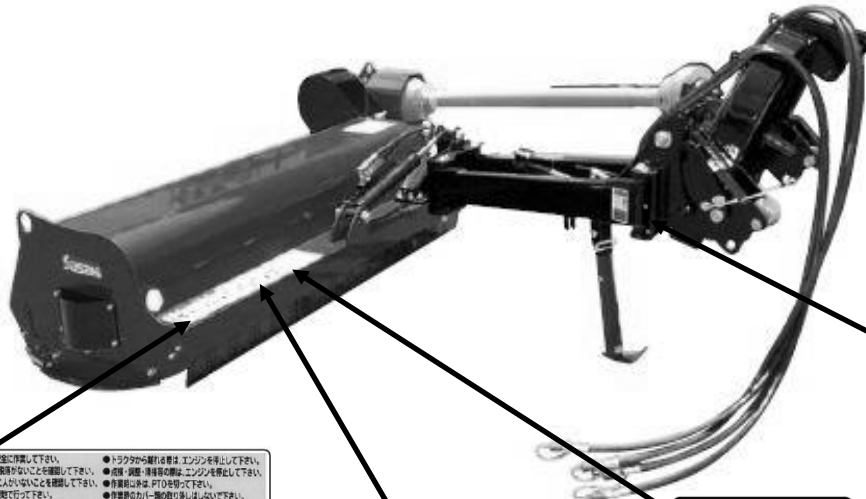
トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇ 点検・整備時は、トラクタのエンジンを止めてください。
- ◇ 機械の下にもぐったり、下で作業したりしないでください。
- ◇ キャスターなどが付いている場合は、車止めをして作業してください。

安全銘板の貼り付け位置



0000-02630

PL ラベル(ケイコク・サキヨウ)



0000-04310 PL ラベル(オフセットモア)



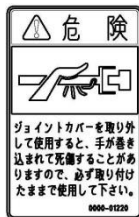
KA1-053300-1

PL ラベル(ケイコク・チャクダツ)



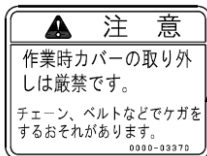
KA1-053200-1

PL ラベル(ケイコク・イドウ)



0000-01220 PL ラベル(キケンジョイント)

0000-04190 PL ラベル(ヒサン、カイトン)



0000-03370 PL ラベル(チェーン、カバー)



0000-04180 PL ラベル(フーリ、ベルト)

注意

- 安全銘板が破損したり、はがれたりした場合は、上記番号・名称にて手配のうえ、貼り直してください。
- 新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全に拭き取り、貼付面を十分に乾かしてから元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

『保証書』は、お客様が保証修理を受けられる際、必要となるものです。
お読みになった後は、大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

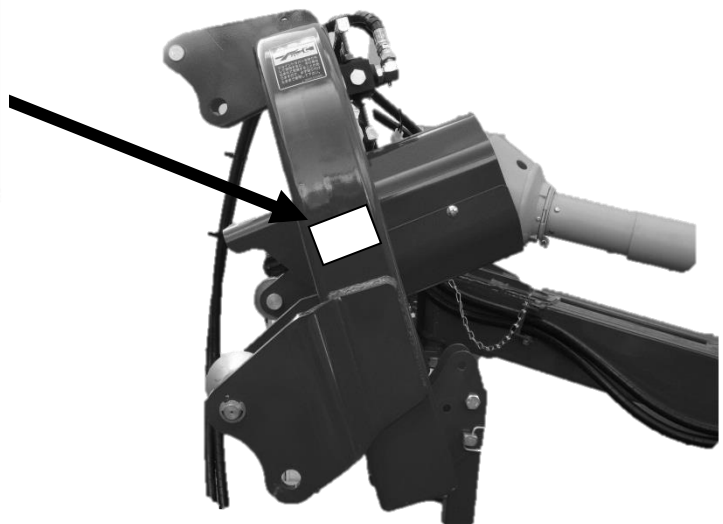
ご使用中の故障やご不審な点など不具合があるときは、
お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。

《ご連絡いただきたい内容》

- ◇ 型式名(機体銘板に明記してあります)
- ◇ シリアル番号(機体銘板に明記してあります)
- ◇ ご使用状況は？
(どのような作業をしていたときに?)
- ◇ どのくらい使用しましたか？
(約何アール又は約何時間使用)
- ◇ 不具合が発生したときの状況

以上をできるだけ詳しくおしらせください。

農業機械の種類	オフセットモア
型式名	KZL146
区分	G
シリアル番号	SS00000***
	
株式会社 ササキコーポレーション 青森県十和田市里ノ沢1番地259 MADE IN JAPAN	

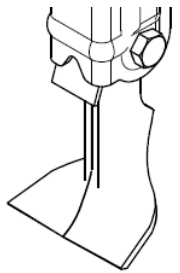
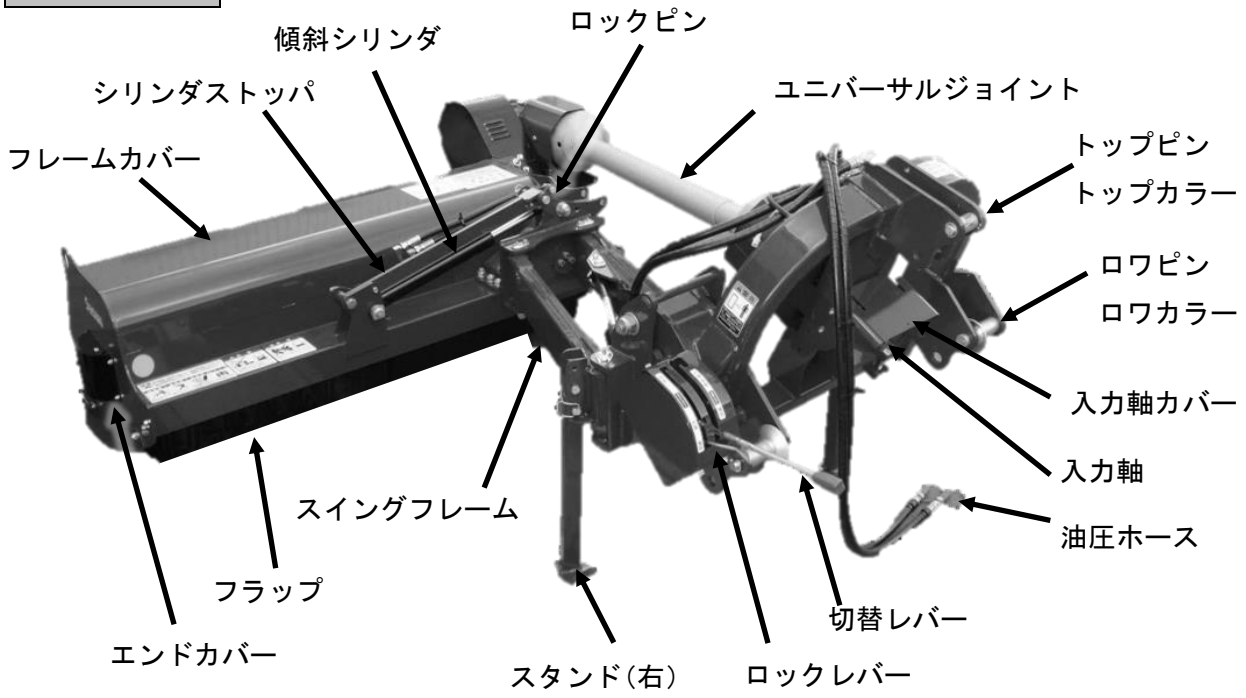


◎補修用部品の供給年限について

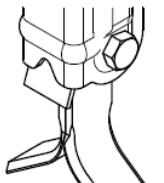
この商品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後 9 年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期をご相談させていただく場合もあります。

各部の名称

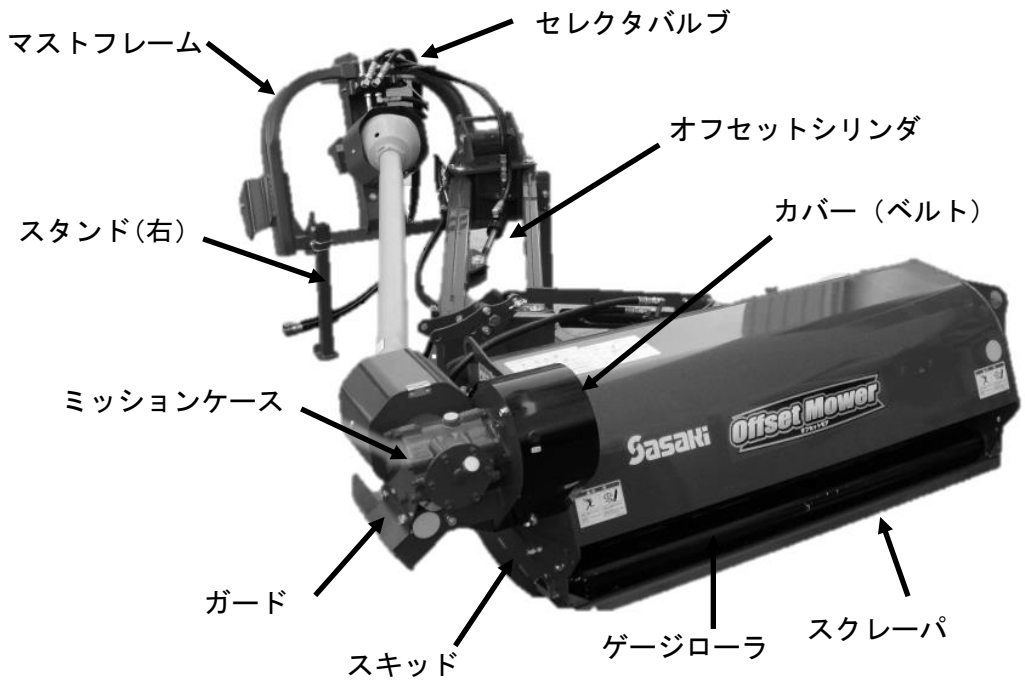
※写真は KZL146GS



ガンマナイフ



Y字ナイフ



付属品

名称	規格	個数	備考
メスカプラ	3/8 ゴムキャップ付き	2	KZL146GS/YS のみ
メスカプラ	3/8 ゴムキャップ付き	4	KZL146G/Y~166G/Y
コントローラ	電源ハーネス付	1	KZL146GS/YS のみ
保証書		1	
取扱説明書		1	
オートヒッチ		1	3L、4Lの場合
ユニバーサルジョイント	#270	1	3Lの場合
ユニバーサルジョイント	#300	1	4Lの場合

装着前の準備

1. 各部のボルト・ナットの緩み、ピン類の脱落がないか、確認してください。
ある場合には、増し締め、組み付けをおこなってください。

注意

作業中にボルト・ナット・ピン等が外れると、作業機の破損ばかりか、トラクタの破損や人身事故につながる恐れがあります。

2. 作業機を装着すると機体の長さ・幅が大きくなり、重量バランスが変わります。
確認のうえ、適宜フロントウェイト等を取り付けてください。

警告

- 適応トラクタの範囲内で使用してください。
適応範囲以内のトラクタであっても、発進時・登坂時に、トラクタの前輪が浮き上がる場合には、必ずフロントウェイト等を取り付けてください。
【守らないと】転倒や横転等の事故で死傷する恐れがあります。
- 作業機の着脱は、平坦で十分な広さがあり、地盤がしっかりした場所でおこなってください。
【守らないと】作業機が動いて、死傷事故を起こす恐れがあります。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れたりしないでください。
また、作業機とトラクタの間に、入らないでください。
【守らないと】挟まれて死傷する恐れがあります。

3. 本機を装着する際は、事前にトラクタの3点リンクに
日農工 I - II 兼用 標準オートヒッチ(以下、Lヒッチ)を取り付けてください。

危険

- ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
【守らないと】巻き込まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

警告

- 2人以上で作業するときは、お互いに合図をして、確認しあって作業してください。
特に、トラクタのエンジンをかけるときや、エンジンが作動している間は、十分に注意してください。
【守らないと】機械が不意に動き出し、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

- 装着時は、トラクタのPTO変速を中立にしてください。
【守らないと】機械が不意に動き出し、思わぬ事故につながる恐れがあります。

◎KZL146GS/YS の場合

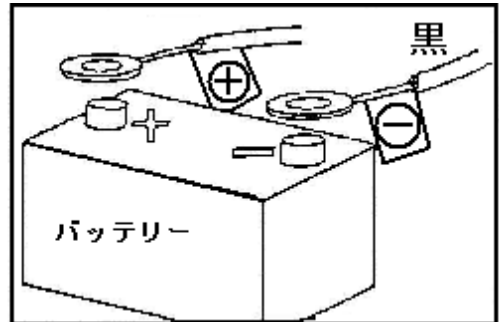
KZL146GS/YS は、1系統の油圧取り出しをセレクトバルブで切替えて、オフセットと傾斜、それぞれのシリンダを選択し動作させるための、コントローラと電源ハーネスが付属しています。以下の要領でトラクタと接続してください。

接続方法

1. 電源ハーネスをトラクタのバッテリーへ接続してください。

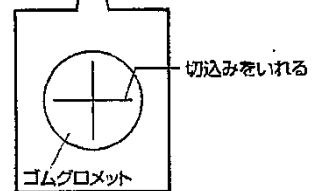
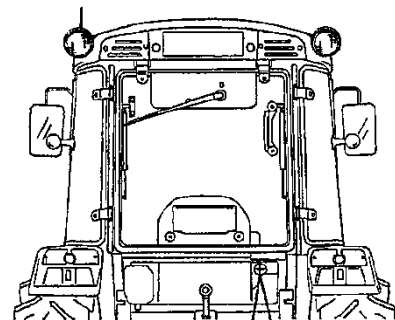
一旦バッテリーのコードを外します。

次に、⊕と表示されているコードをバッテリーの⊕側へ接続し、最後に、⊖と表示されているコードをバッテリーの⊖側へトラクタのコードと一緒に接続してください。



バッテリーは大抵の場合、トラクタの前方にあります。トラクタに外部コネクタがある場合は、外部コネクタを使用してもよいです。

2. コントローラを運転席付近へ据え置き、電源コードと接続します。電源コードは、前輪に引っかからないようにバンドでクランプしてください。
3. トラクタキャビン内より本機側へコードを引き出す場合は、キャビン後方のゴムグロメットにカッターナイフで切り込みを入れ、コードは必ずゴムグロメットを介し通してください。



⚠ 警告

ゴムグロメットを外してコードを通すと、コードに傷がつき、
思わぬ事故を起こす恐れがあります。

4. 本機バルブへの配線は、トラクタへ本機を装着してから、コネクタを配線してください。配線は、本機を3点リンクで上げ下げしても、余裕があるようにしてください。

重要

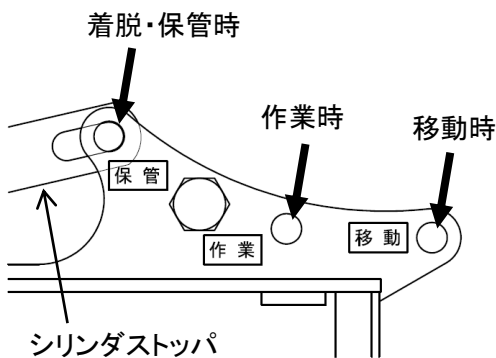
- 本製品の作動電源はバッテリーDC12Vです。
その他の電源に接続すると破損しますので、絶対に接続しないでください。
- バッテリーの ⊕ と ⊖ を必ず確認してから接続してください。
誤って接続すると電子部品の故障の原因になりますので注意してください。
- バッテリー電圧が不足していると作動しない場合があります。
電圧が不足している場合は充電してください。

シリンダストップの取扱方法

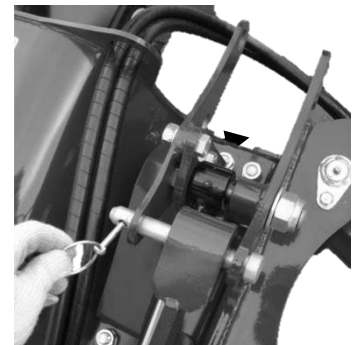
⚠ 警告

- 作業機の着脱は、平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所でおこなってください。
【守らないと】作業機が動いて、死傷事故を起こす恐れがあります。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れたりしないでください。
また、作業機とトラクタの間に入らないでください。
【守らないと】はさまれて死傷する恐れがあります。
- 組立作業する時は、平坦で固い場所でエンジンを停止してからおこなってください。
- 2人以上で作業をする時は、お互いに合図しあって、注意しながら作業してください。

シリンダストップは必ず、作業時は【作業】位置、着脱と保管時は【保管】位置、移動時は【移動】位置の各穴とシリンダストップの穴を合わせてストップピンを差し込み、フレームを固定してください。
シリンダストップの位置合わせは傾斜シリンダを伸縮させて調整してください。



① ストップピンを差し込む

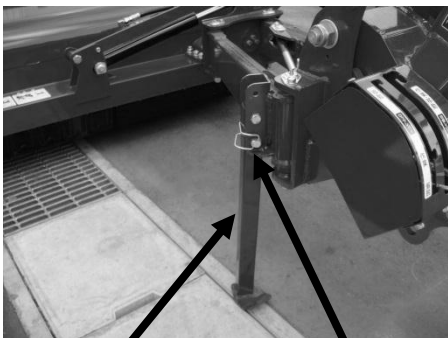


② リンチピンで抜け止めをする

スタンドの取扱方法

着脱時・保管時はスタンドを下に反転させ、パイプロックピンで固定します。
作業時・移動時はスタンドを上跳ね上げ、パイプロックピンで固定します。

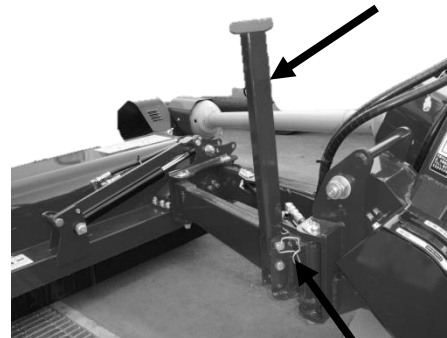
着脱時・保管時



スタンド

パイプロックピン

作業時・移動時



パイプロックピン

KZL146 の場合

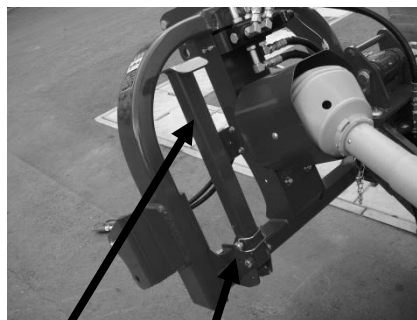
お使いのオフセットモア型式が「 KZL146 」の場合は、マストフレーム左側にもスタンドが付いておりますので、上記と同様に操作してください。

着脱時・保管時



パイプロックピン スタンド

作業時・移動時



スタンド パイプロックピン

⚠ 注意

- スタンドを操作する時は、手を挟まないように注意してください。
- 作業時は、必ずスタンドを上跳到げ、パイプロックピンを入れて、落下しないようにしてください。

入力軸とトップ・ロウピン位置の選択

オフセットモアは、トラクタのPTO高さに応じて入力軸とトップピンとロウピン位置が2通り選択できます。出荷時は、上側に組み付けてあります。

作業姿勢にした際に、トラクタとオフセットモアの間のユニバーサルジョイントが、ほぼ水平に位置するのが正常です。[トラクタへの着脱方法](#)（18ページの15項）を参照してください。

それでもユニバーサルジョイントに角度が付くようでしたら、下記の方法で、下穴に変更してください。

重要

入力軸とトップピン・ロウピンは、必ずセットにして高さを変更してください。

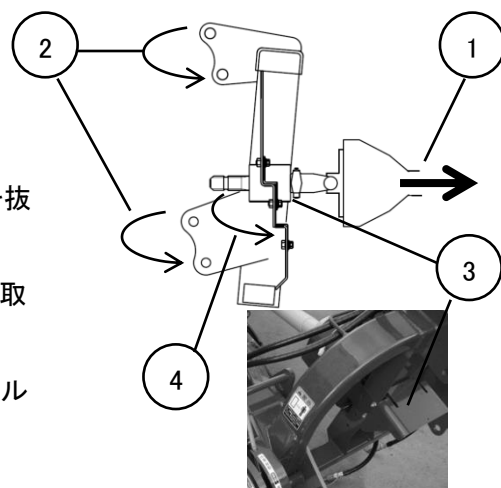
互いに異なる位置に組付けしないでください。

オフセットモアの破損ばかりか、トラクタやLヒッチにも破損を招きます。

入力軸とトップ・ロウピンの入れ替え方法

※下記は上穴から下穴にする場合を記載しています。

- ① あらかじめユニバーサルジョイントを取り外します。
- ② Eリングを外し、トップピンとトップカラー、ロウピンとロウカラーを抜き取り、下の穴にそれぞれのピンを付け替えます。
- ③ 入力軸カバーを外し、入力軸ハウジングとその下部のカバーの取付ボルトを外します。
- ④ 入力軸ハウジングとその下部のカバーの位置を入れ替えて ボルトで再度固定し、外したカバー類も元の位置に付けます。



トラクタへの着脱方法

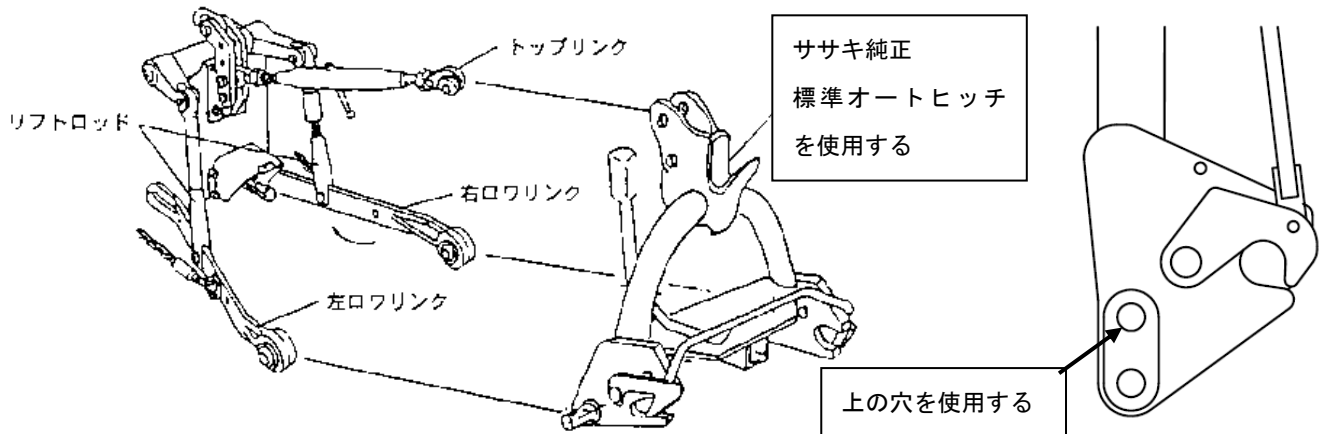
I. 装着方法(作業前には、必ずエンジンを停止してください)

1. トラクタの標準3点リンクに ササキ純正日農工 I-Ⅱ兼用 標準オートヒッチ(以下、Lヒッチ) を左ロワリンク、右ロワリンク、トップリnkの順に装着してください。

Lヒッチのロワピンは上の穴へ付け替えてください(下の穴は使用不可)

トップリnkは標準3点リンク用の長いトップリnkをご使用下さい。

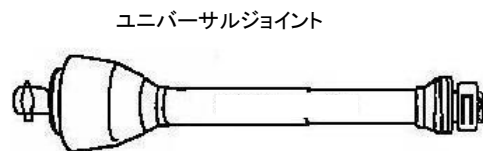
トラクタのリフトロッドとロワリンクの穴位置はトラクタ標準の穴位置を使用して下さい。



警告

- 装着は、作業機が傾斜した状態やオフセット位置ではおこなわず、必ず格納位置で水平にしておこなってください。
 - 装着作業時は、平坦で固い場所でおこなってください。
 - 2人以上で作業をする時は、お互いに合図をしあい、注意しながら作業してください。
 - 作業中は、作業機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
 - ご使用のトラクタに応じて、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを取り付け、バランス調整をしてください。
- 【守らないと】走行時に安定を失い、転倒・横転して死傷する恐れがあります。

2. 4Lヒッチの場合は、あらかじめトラクタとLヒッチにユニバーサルジョイントを取り付けてください。必ず広角側をトラクタのPTO軸に取り付けてください。



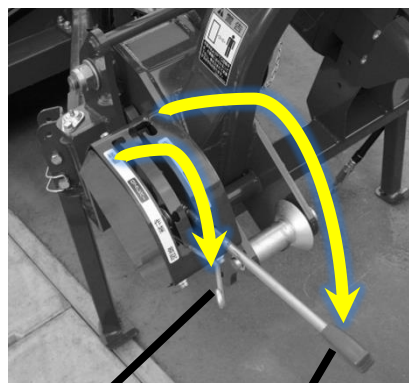
広角側をトラクタ PTO 軸へ 標準側をオートヒッチへ

3. オフセットモアの切替レバーが【着脱】位置、ロックレバーも【着脱】位置になっていて、マストフレームが前方に傾いた状態で固定していることを確認してください。

※レバーは、切替レバー → ロックレバー の順で操作してください。

重要

着脱時は、必ず指定のレバー位置でおこなってください。着脱が困難になります。



ロックレバー 切替レバー

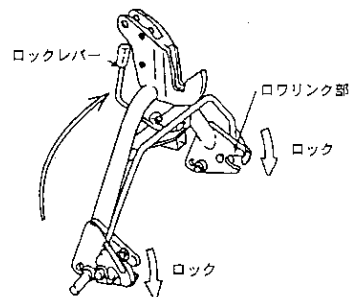
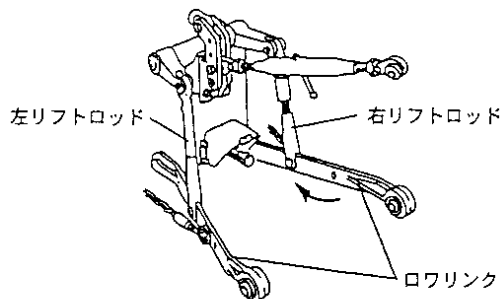
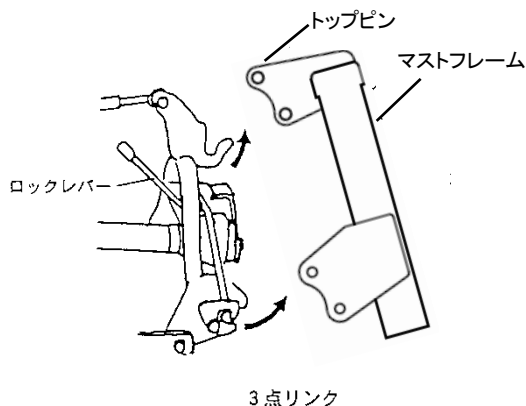
4. 周りに人や動物・障害物がないことを確認してから、トラクタのエンジンを始動させ、3点リンクを油圧レバーで下げて、本機のマストフレームに向かってゆっくり後退させてください。

5. ヒッチのロックレバーのロックピンを解除してから、Lヒッチのフック部に作業機のトップピンを引っ掛けるように、油圧レバーをゆっくり上げてすくい上げると、左右のロワリンクも自動的に装着されます。

この時、本機が左右に傾いている場合は、リフトシリンダまたはリフトロッドを伸縮させ、本機の傾きに合わせてから装着し、水平になる様に再度調整してください。

※フック部ですくえなかったり、ユニバーサルジョイントが入らなかったりした場合は、無理に入れようとしないで、やり直してください。

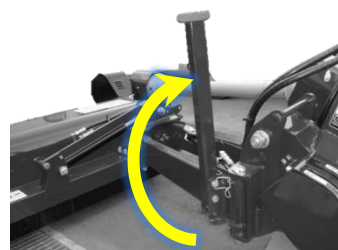
※フック部の下がり量が不足している場合は、リフトロッドの取り付け穴位置を下穴にするか、または、ロワリンク穴位置を前穴へ変えてください。



6. Lヒッチのロックレバーを操作して、ロワピンをロックしてください。

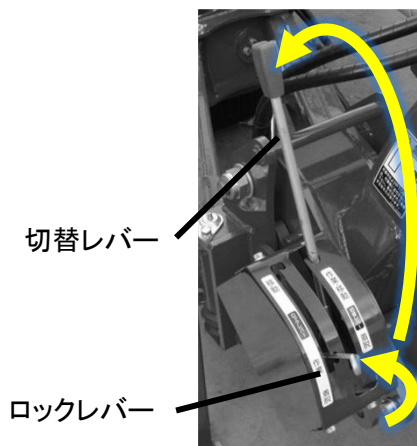
7. スタンドを上反転させてください。

スタンドの取扱方法 (13ページ)を参照してください。

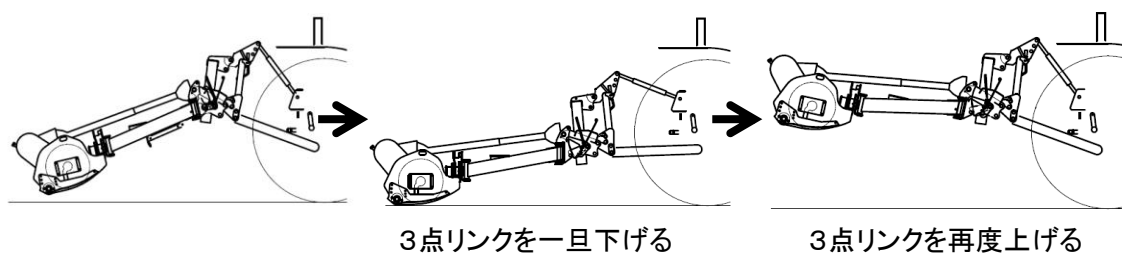


8. オフセットモアの切替レバーを【作業】位置、
ロックレバーを【作業】位置にしてください。

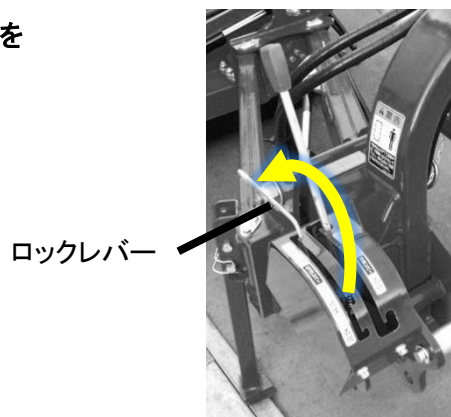
※レバーは、切替レバー → ロックレバー の順で
操作してください。



9. 3点リンクを“カタン”と音が鳴るまで下げます。
(フローティングのストoppがかかった音です)
再度3点リンクを上げてマストフレームが前方に傾いていないか確認してください。
傾いている場合は、再度3点リンクを下げて確認してください。



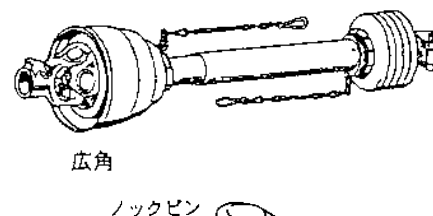
10. そのまま移動走行する場合は、オフセットモアのロックレバーを
【移動】位置にしてください。



11. トラクタのエンジンを停止します。

12. 3Lヒッチの場合は、ユニバーサルジョイントを装着してください。
広角側をトラクタPTO軸へ取り付けてください。
トラクタ側、作業機側ともにジョイントのノックピンが正確に軸溝
にはまっているか確認してください。
このときノックピンが 1cm 以上出ている場合は正常です。

トラクタ側 作業機側

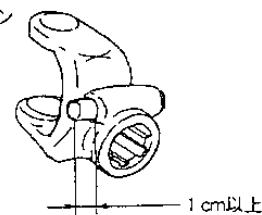


重要

ユニバーサルジョイントの広角側を作業機側へ取り付けると、
ジョイントの破損の原因になります。

重要

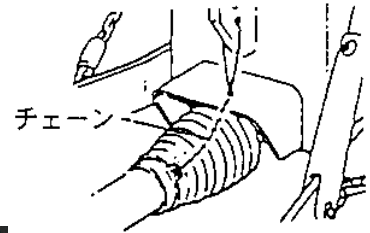
トラクタによって、ユニバーサルジョイントの長さが合わない場合があります。
その時には、**ユニバーサルジョイントの切断方法**(21ページ)をお読みください。



⚠ 危険

ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
【守らないと】巻き込まれて死傷事故を起こすおそれがあります。

13. ユニバーサルジョイントに付属しているチェーンをトラクタ及び作業機に取り付けて、カバーの回転防止をしてください。



14. シリンダの油圧ホースカプラをトラクタ外部油圧取り出しに接続してください。

参考

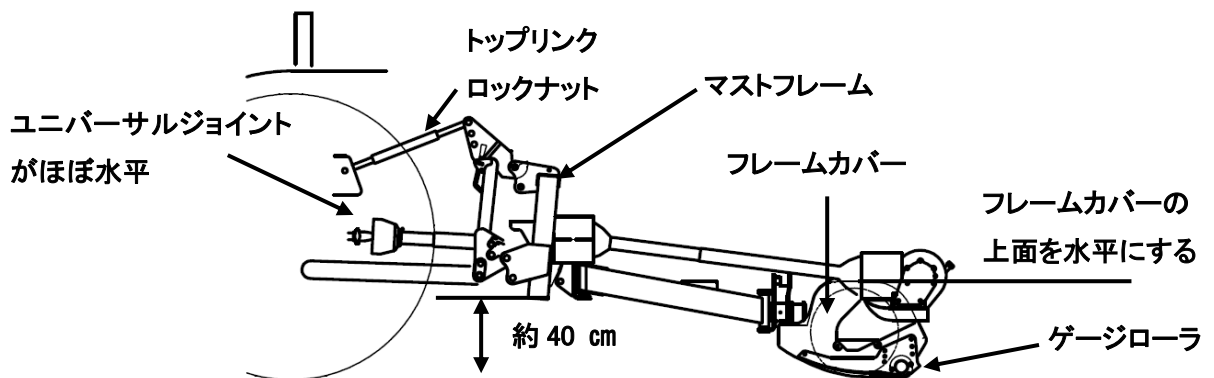
トラクタと接続する油圧ホースは、
KZL146~166G/Y は油圧複動 2系統で4本、
KZL146GS/YS は油圧複動 1系統で2本です。
外部油圧取出しの【IN】と【OUT】をそれぞれ間違わないように接続してください。



参考

オフセットモアの油圧ホースカプラは、工場出荷時で 3/8 のオスが組み付いています。必要に応じてトラクタ側の外部油圧の接続カプラに合わせて組み替えてください。

15. トラクタのエンジンを始動させ、作業姿勢を調整します。
ゲージローラが接地した状態で、カバー上面が水平になるようにトプリングの長さを調整してください。
トプリングを縮めると前側に傾き、伸ばすと後側に傾きます。
調整後、ロックナットで確実に固定してください。

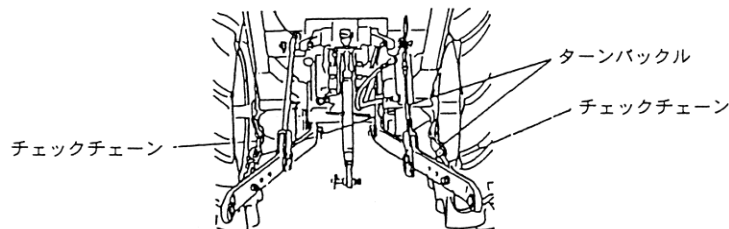


⚠ 注意

- 長さ調節が終わったら、必ずトプリングのロックナットで、ロックしてください。
【守らないと】ネジが外れて事故を起こす恐れがあります。

16. 本機をトラクタの3点リンクで少し持ち上げ、ト
ップリンクが、トラクタの中心線上にあるよう
にチェックチェーンを、左右均等に張ってくだ
さい。

その後、左右のチェックチェーンのターンバックルを 0.5 ~ 1 回転程度逆に戻し、ロックしてください。



⚠ 注意

- 3点リンクを持ち上げる前に、トラクタの取扱説明書「3点リンクおよび油圧関係」をよく読んでください。

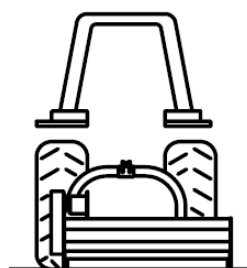
【守らないと】機械の損傷やケガの原因になるおそれがあります。

17. 3点リンクをゆっくりと上げながら、作業機とトラクタがぶつからないか確認してください。
ぶつかる場合は、作業機とトラクタの間隔が 10 cm 以上離れるように上げ規制をしてください。

II. 取り外し方（作業前には、必ずエンジンを停止してください）

1. 平坦で固い場所を選んでください。
その際、周りに人や動物・障害物がないことを確認してください。

2. 本機をオフセットシリンダにて格納位置にし、
傾斜シリンダにて水平位置にしてください。
シリンダストッパが【保管】位置に合っていることを確認して、
ストッパピンを差し込み、リンチピンではずれ止めをします



取り外し時の状態



シリンダストッパに
ピンを挿し込む

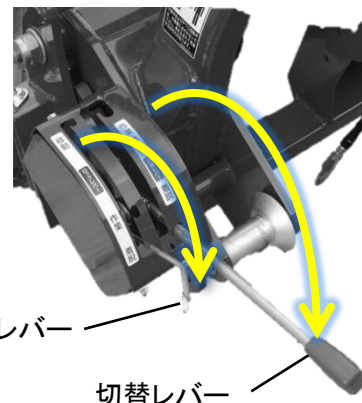
3. トラクタのエンジンを停止させます。

4. トラクタ外部油圧レバーを 2~3 回動かし、油圧シリンダ内の残圧を抜き、油圧カプラを外してください。
※KZL146GS、KZL146YS の場合は、電源ハーネスを外してください。
※3Lヒッチの場合、ユニバーサルジョイントに付属しているチェーンをトラクタ及び作業機から外してユニバーサルジョイントを取り外してください。



5. オフセットモアの切替レバーを【着脱】位置、
ロックレバーを【着脱】位置にしてください。

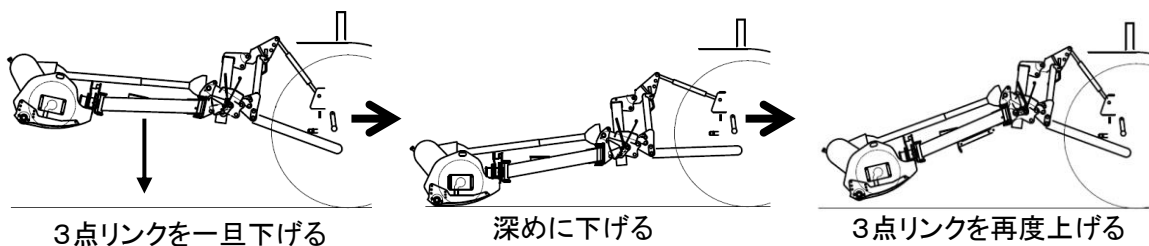
※レバーは、切替レバー → ロックレバー の順で操作してください。



ロックレバー

切替レバー

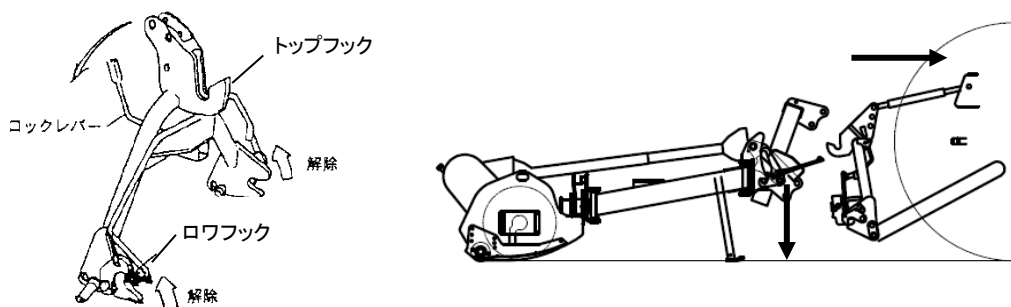
6. トラクタのエンジンを始動させ、3点リンクを深めに下げます。
 (フローティングのストoppaが外れます)
 再度3点リンクを上げるとマストフレームが前方に傾きます。
 傾いていない場合は、再度3点リンクを下げてから、もう一度上げてください。



7. スタンドを下に反転させ着脱位置にしてください。
スタンドの取扱方法(13ページ)を参照してください。



8. Lヒッチのロックレバーを解除し、3点リンクをスタンドが地面に着くまでゆっくりと下げてください。
 そのまま、ロワフック部を外し、さらに油圧レバーで3点リンクを下げながら、トラクタをゆっくり前進させ、Lヒッチのトップフック部を、オフセットモアのトップピンから外してください。



⚠ 危険

- ユニバーサルジョイントを取り外しするときは、必ずPTOクラッチを切り、エンジンを停止してください。
 【守らないと】巻き込まれて、死傷事故を起こす恐れがあります。

⚠ 警告

- 機械の下に潜り込んでの作業はおこなわないでください。
 【守らないと】機械が予期せず落下して、死傷事故を起こす恐れがあります。
- 着脱は、作業機を傾斜させたり、オフセット位置でおこなったりせず、必ず格納位置で水平にしておこなってください。
- 脱着作業をする時は、平坦で固い場所でおこなってください。
- 2人以上で作業をする時は、お互いに合図をしあって、注意しながら作業してください。

⚠ 注意

- 周りに人や動物・障害物がないことを確認してから作業してください。

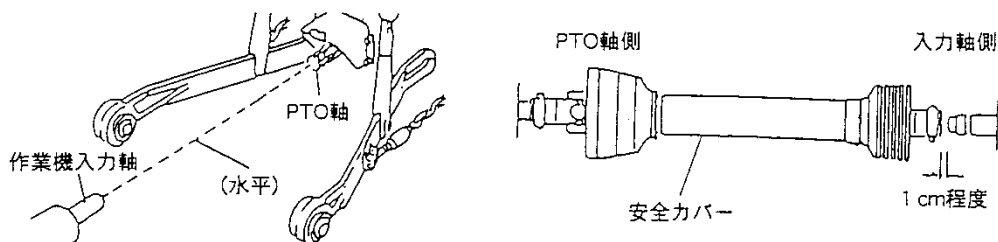
ユニバーサルジョイントの切断方法

ユニバーサルジョイント(以下ジョイント)の長さは、必ず適正長さの範囲内で使用してください。短すぎるとジョイントが抜けて思わぬ事故につながり、長すぎると機械を破損してしまいます。短い場合は交換し、長い場合は切断して使用してください。

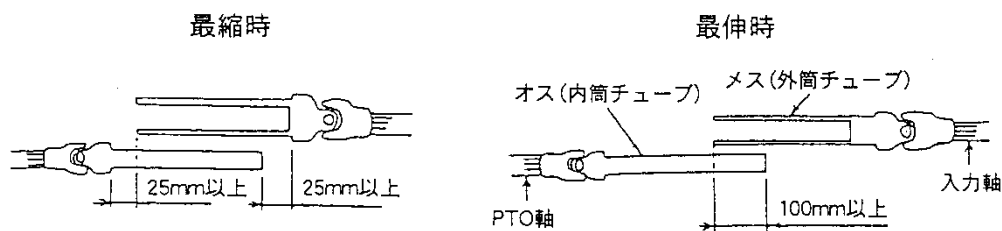
◎適正長さの確認

トラクタのPTO軸と作業機の入力軸が、水平で一直線上にある時が、ユニバーサルジョイントが一番短くなる時です。

このとき、トラクタのPTO軸にユニバーサルジョイントの片方を挿入し、一番縮めた状態で作業機入力軸とユニバーサルジョイントの間に 1 cm程度のスキマがあればそのまま使用できます。

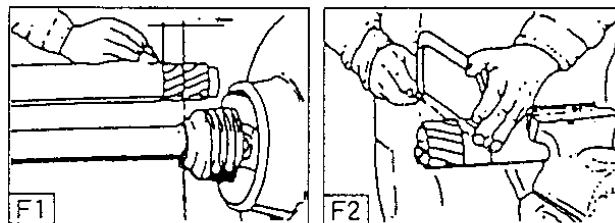


また、ユニバーサルジョイントのオス・メスを外して、それぞれPTO軸と入力軸に取り付け、水平で一直線上にある時(最縮時)に、下図のスキマが25mm以上あり、作業機を上下させてユニバーサルジョイントが一番伸びた時(最伸時)に、オス・メスの重なりが100mm以上あると、適正長さの範囲です。

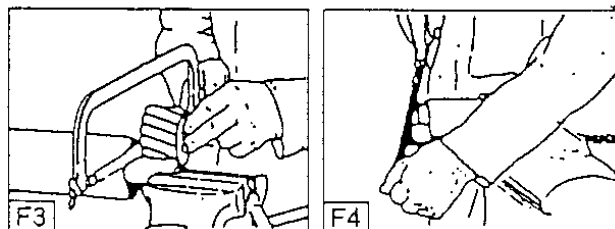


◎切断方法

F1. ユニバーサルジョイントのオス・メスを外して、トラクタと作業機の最短の作業位置に合わせ、相手側の安全カバーの筒の端から、25mm程度のスキマがあく位置に、オス・メスの安全カバーへそれぞれ、マークをつけてください。



F2. オス・メスの安全カバーに、マークをした長さだけ、安全カバーを切断してください。



F3. オス・メスの内外筒チューブを、安全カバーを切断した部分と、同じ長さだけ切断してください。

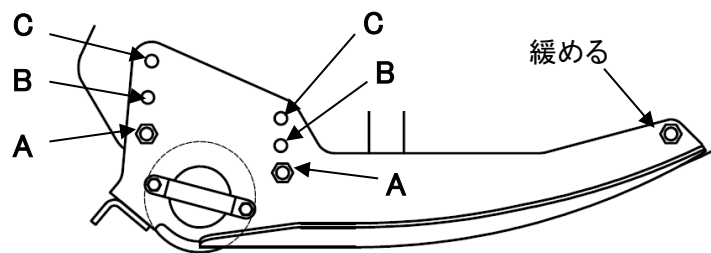
F4. 切断後は切り口にヤスリをかけ、バリを取り除きスムーズにスライドできるようにしてください。

刈り高さの調整方法

刈り高さは、ゲージローラの取付けブラケットの片側3本のボルト(左右両側で合計6本)を緩め、取付位置を変えることにより、3段階の高さを選択出来ます。

- ① オフセットモアをトラクタに装着する。
- ② PTOクラッチを切にする。
- ③ トラクタのポジションレバーを操作して、オフセットモアを上げてください。
- ④ トラクタのエンジンを停止させます。
- ⑤ 前方 1ヶ所 のボルトを軽く緩め、後方 2ヶ所 の取付ボルトは外してください。
ボルトを外すとゲージローラの固定が無くなり、落下しますので十分注意しておこなってください。
また、ゲージローラの重量は重いため十分注意して作業してください。
- ⑥ ボルトを A～C のいずれか穴に入れ、すべてのボルトをしっかりと締めてください。
(必ず左右とも同じ穴に取り付けてください)

刈り高さ A穴 0cm
B穴 4cm
C穴 7cm



※ 刈り高さは、フレームカバー面が地面と平行になった時(作業姿勢時の状態)のものを表しています。

作業姿勢の調整方法は **トラクタへの着脱方法**(18ページ、15項)を参照してください。

- ⑦ トラクタのエンジンを始動させ、ポジションレバーを操作してオフセットモアを下げてください。

作業の仕方(24ページ)をよく読んでから作業してください。

警告

- 交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない、平坦で十分な広さがある、地盤のしっかりした場所で、トラクタの前輪には車止めをして調整作業をしてください。
【守らないと】 機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- 点検・調整作業をするときは、必ずエンジンを停止してください。
【守らないと】 傷害事故・機械の損傷を引き起こすおそれがあります。
- 作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。
【守らないと】 何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故をおこすおそれがあります。
- 2人以上で作業するときは、お互いに合図をして、確認しあって作業してください。
トラクタのエンジンをかけるときや、エンジンが作動している間は、十分に注意してください。
【守らないと】 機械が不意に動き出し、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

- 危険ですので刈り高さの調整は、必ず3点リンクをできるだけ下げて、作業機を格納位置・水平状態にしておこなってください。
- 各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。

作業前の点検

作業機の性能を十分に引き出し、長くご使用いただくために、必ず作業前の点検をおこなってください。

⚠ 警告

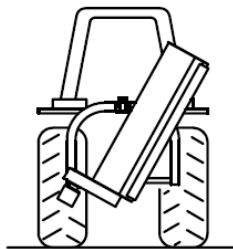
- 点検・調整作業は、交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない、平坦で十分な広さがある、地盤のしっかりした場所でおこなってください。
【守らないと】機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- 点検・調整作業をするときは、必ずエンジンを停止してください。
【守らないと】傷害事故・機械の損傷を引き起こすおそれがあります。

- ① ミッションケースのオイル量・オイル漏れないか確認(30ページ参照)
- ② ベルトの張り具合の確認
調整方法は、**保守管理について**(28ページ)を参照してください。
- ③ 可動各部へのグリース注入(30ページ参照)
- ④ ユニバーサルジョイントのグリース注入(32ページ参照)
- ⑤ 各部の損傷、ボルト・ナットの緩み点検
- ⑥ ナイフの取付ボルトの緩み、ナイフの減り確認(28ページ参照)

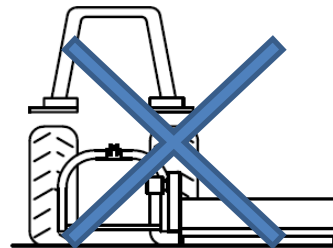
運転及び刈り取り作業について

◎移動と圃場への出入りのしかた

1. 圃場へ移動するときは、トラクタのポジションレバーでオフセットモアを上昇させ、オフセットシリンダで**格納位置**にして、傾斜シリンダで**傾斜を最大**に上げてください。オフセットしたまま走行することは出来ません。

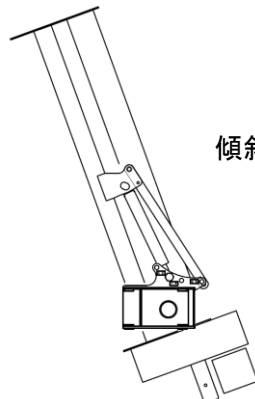


移動走行時の状態



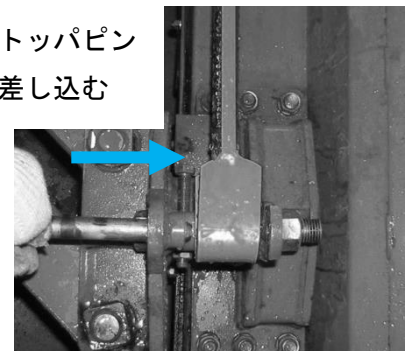
オフセット位置のままでの走行はできません

2. シリンダストッパが移動位置の穴にあっているのを確認し、ストッパピンとリンチピンでフレームカバーを固定してください。



傾斜を最大にする

ストッパピン
を差し込む



3. トラクタの油圧を確実にロックし、チェックチェーンをしっかり張って、横振れしないことを確認してから走行してください。

警告

- 運転者以外の人や荷物をトラクタやオフセットモアに乗せてトラクタを運転しないでください。
【守らないと】 傷害事故をおこすおそれがあります。
- 移動走行時は必ず格納位置にして、必ずPTOを切ってから走行してください。
【守らないと】 重大な事故をおこすおそれがあります。
- 移動走行時は作業機をオフセット位置から格納位置にして、フレームカバーの傾斜を最大に上げて移動位置にしてから走行してください。
- 急発進・急加速・高速走行・急制動・急旋回はしないでください。

注意

- 移動中、刈取り部が落ちてきて危険ですので、ピンをシリンダストッパに差し込んで固定させてください。
4. 圃場への出入りは、直角に前進で安全な遅い速度でおこなってください。
高低差の大きい急斜面の登り下りや、溝越え、あぜ越えが必要な場合は、十分な強度のあるあゆみ板（傾斜が15°以下になる長さ）を使用し、確実に固定してから低速でおこなってください。
 5. 坂の登りは、トラクタの前部が浮き上がり危険です。
フロントウェイトを装着し、オフセットモアはできるだけ下げて登ってください。

◎作業のしかた

1. 作業前に圃場の状況を必ず確認してください。
特に、草丈が高い場合は地表面が見えづらいため、危険が伴います。
地表の凸凹や段差・異物がないか、危険なところがないかなど安全に作業できることを十分確認してから作業してください。
また、オフセットモアのロータ軸は高速で回転するため、石など硬いものは前後左右に 20メートル以上飛散する場合がありますので、周囲に人や動物がいないことを確認してから作業してください。

警告

作業前及び作業中は、必ず機械の周辺に人がいないことを確認し作業してください。
【守らないと】 飛散物をぶつけ、重大な事故をおこす恐れがあります。

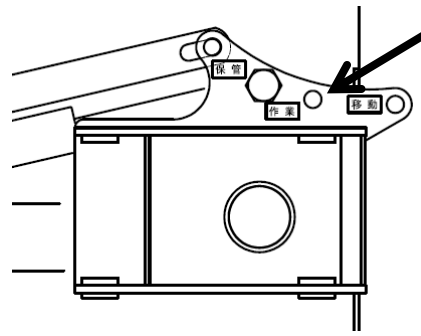
注意

つる状の草やビニールシート、紐など長いものは、ロータ軸に巻きつきやすいので、作業前に圃場から取り除いてください。
【守らないと】 巻きつきを取り除く際に怪我をするおそれがあります。

2. シリンダストップを固定していたストップピンを抜き取り、
【作業】位置に差替えます。

重要

作業時は必ず、**【作業】位置**にストップピンを差替えてください。
シリンダ操作ができないばかりか、機械の破損の原因になります。



ストップピンを**【作業】**
位置(中央の穴)に
差替える

3. トラクタの作業速度は、通常 2~4 km/hの速度で作業してください。
スタンドは、必ず作業位置(上側に反転させる)にして作業してください。
4. PTOを低回転で接続し、徐々に回転数を上昇させてください。
PTO回転数は、通常 1速で使用しますが、圃場条件、ナイフの磨耗状態により切れにくくなってきた場合は、PTO 2速を使用してください。

警告

PTOの変速シフトを 3速以上にしての作業は絶対におこなわないでください。
【守らないと】 機械の破損による重大な事故をおこすおそれがあります。

5. 圃場条件によりトラクタのエンジン馬力が不足気味のときは、作業速度を下げるか、PTO 2速のときは1速に下げるなどの操作をして、トラクタや作業機に負担をかけない作業をしてください。
6. 草刈り作業は、場所に合わせてオフセットシリンダを調整して作業機のオフセット位置を変えたり、傾斜シリンダを調整して傾斜角度を変えたりして、適宜地形に合わせて作業してください。
7. 作業時、トラクタのエンジンの回転数が急に下がったときなどは、異常が発生していることがありますので、ただちにPTOクラッチを切り、エンジンを止めます。
それから、オフセットモアを点検し、原因を取り除いてください
トラブルの原因と処置方法(33ページ)をお読みください。

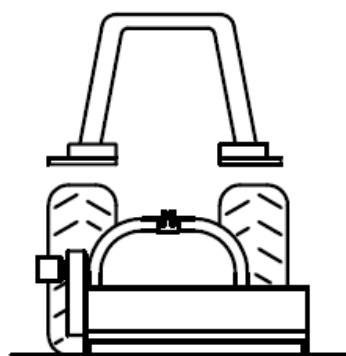
危険

- 回転部分には絶対に手や足を入れないでください。
- 回転部分に物が巻きついたときは、PTOの回転を止め、必ずエンジンを停止させてから取り除いてください。
【守らないと】 回転部に巻き込まれ、死傷するおそれがあります。

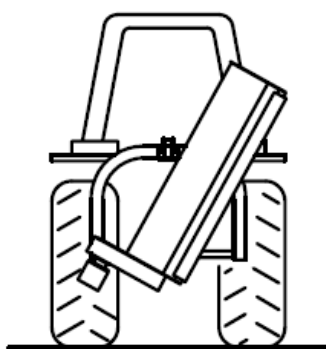
警告

- 圃場内の低速移動でも格納位置にして移動してください。
【守らないと】 バランス等を崩し、転倒等の重大な事故をおこすおそれがあります。

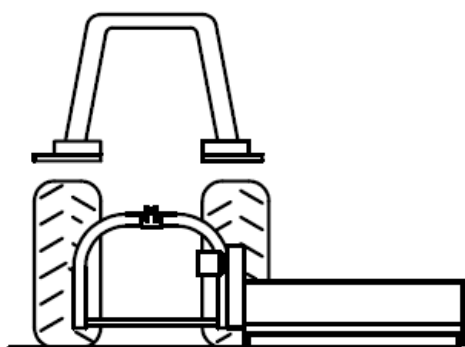
- ⑤ オフセットモアは圃場にに合わせて、作業部の位置を変えて作業することができます。
状況に応じてトラクタの外部油圧操作レバーを操作し、シリンダを動かして作業をおこなってください。
斜面角度は上 70度 ~ 下 55度 まで対応できます



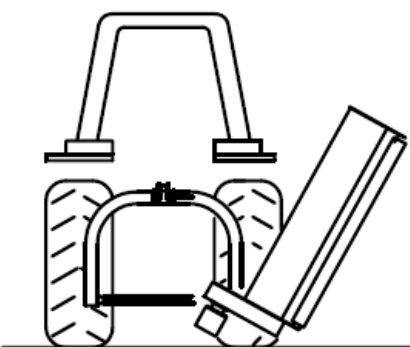
格納位置
着脱位置



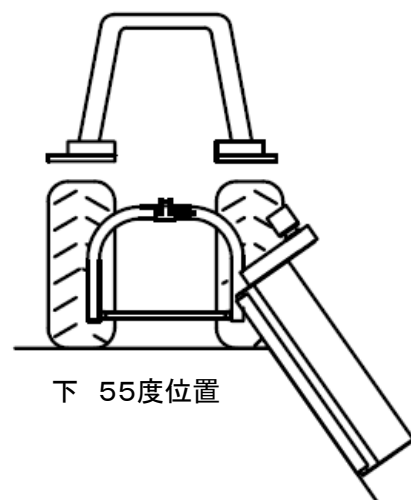
移動位置



オフセット作業(水平)



上 70度位置



下 55度位置

⚠ 危険

- 安全のため、作業時は必ずシートベルトを締めてください。

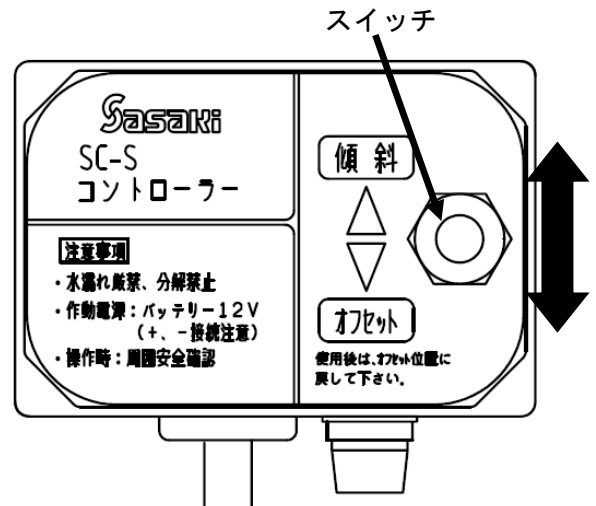
⚠ 警告

- 周りに人や動物、障害物が無いことを確認してから作業してください。
- 斜面作業をする場合、左右バランスが変わります。
必ずトラクタは平坦な所を走るようにしてください。
- 法面作業をする場合、低速で余裕をもって作業してください。
【守らないと】重要な事故を起こし、死傷するおそれがあります。
- 作業するとき以外は、必ずPTO回転を停止してください。
【守らないと】不意にPTOが回転し、巻き込まれて死傷するおそれがあります。

◎KZL146GS/YS の場合

KZL146GS/YS の場合、コントローラによって油圧を切替えてオフセットシリンダと傾斜シリンダを動かします。

1. オフセットシリンダを動かしたい場合は、スイッチをオフセット側に入れトラクタの外部油圧操作レバーを操作してください。
2. 傾斜シリンダを動かしたい場合は、スイッチを傾斜側に入れトラクタの外部油圧操作レバーを操作してください。



重要

作業終了後は、スイッチをオフセット側に入れて保管してください。
バッテリー上がりの原因になります。

◎作業上の注意

1. PTOクラッチの接続は、エンジン回転数を必ず下げた状態で接続し、徐々に回転数を上げてください。
2. 異常や異音が発生した場合は、直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止してから点検・処置してください。
トラブルの原因と処置方法(33ページ)をお読みください。
3. 逆転PTOは、使用できません。
使用しても、ワンウェイクラッチ(一方向回転)により回転がロータ軸に伝達しません。
4. 運転者が運転席を離れる時は、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
5. 作業中、補助作業者は機械から**20m以上離れる**ように指示して、作業してください。
(絶対に機械の周囲に人を近づけないこと、人が近づいたらただちに作業を中止すること)

警告

- 本機を装着すると、前後バランスが変わります。
発進時・登坂時トラクタの前輪が浮く場合は、フロントウェイトを取り付けてください。
【守らないと】 転倒や操舵不良の原因になり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 適応トラクタの範囲内で使用してください。
適応範囲内のトラクタでも、発進時・登坂時にトラクタの前輪が浮き上がる場合は、フロントウェイトを装着してください。
【守らないと】 転倒や操舵不良の原因になり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 圃場から出るときに、前輪が浮き上がる場合は、転倒する恐れがあるので、無理をせずに後退で出てください。その後、フロントウェイトを、装着してください。
【守らないと】 転倒や操舵不良の原因になり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

- 作業中は作業機に、人を近づけないでください。特に、子供に注意してください。
【守らないと】機械に巻き込まれたり、思わぬ事故につながったりする恐れがあります。
- エンジンを停止するときは、必ず作業機を下ろしてから停止してください。
エンジン始動時に、作業機が急に下がることがあるので危険です。
- 2人以上で作業をする場合は、お互いに合図をして、確認しながら安全に作業してください。
特にトラクタのエンジンをかける時や、エンジンが作動している間は、十分注意してください。
- 点検・整備、からみついた草等を取る場合は、トラクタのエンジンを停止してからおこなってください。
【守らないと】不意に機械が動き、巻き込まれてケガをします。
- 点検整備をする場合は、平坦な場所でエンジンを停止しておこなってください。
【守らないと】トラクタが動きだして、ケガをする恐れがあります。
- 格納は平坦な場所に、保管してください。

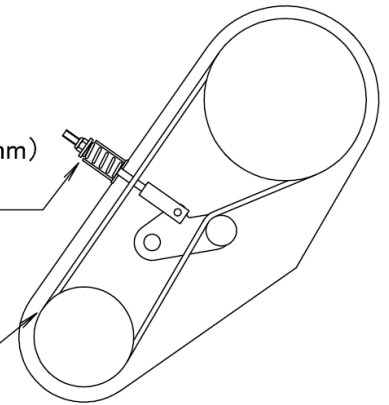
保守管理について

◎Vベルトの張り調整

- Vベルトの交換時は、ササキ指定Vベルトを使用してください。
(指定外Vベルトを使用した場合、刈り取り作業に支障をきたします)
- 新品のVベルトは初期伸びがありますので、右図要領で初回2時間までは30分毎に、それ以降は作業前後に調整してください。

六角ナットを締め込んで、バネ高さを 52～54 mm (パイプと座金の隙間が 2～4 mm) に調整して下さい。

品番 KD1-215100-0
名称 Vベルト(W800)SB-56



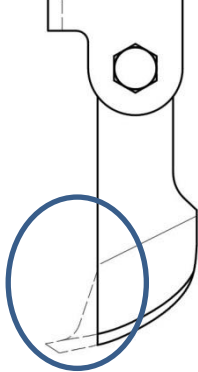
◎ナイフの交換時期

ナイフが摩耗すると刈り取り性能が低下します。

下図のような摩耗状態になりましたらナイフを交換してください。

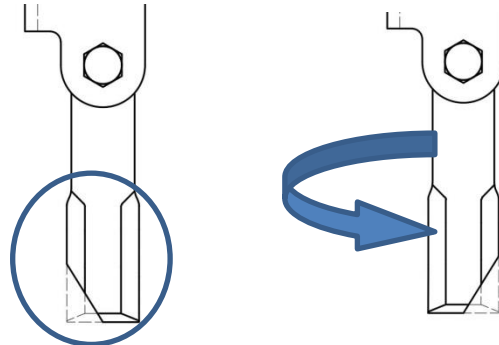
※ナイフの交換は1度に全数交換してください。機械破損の原因となります。

ガンマナイフの場合



ナイフ先端が根元の板とほぼ同じラインになったら交換時期です

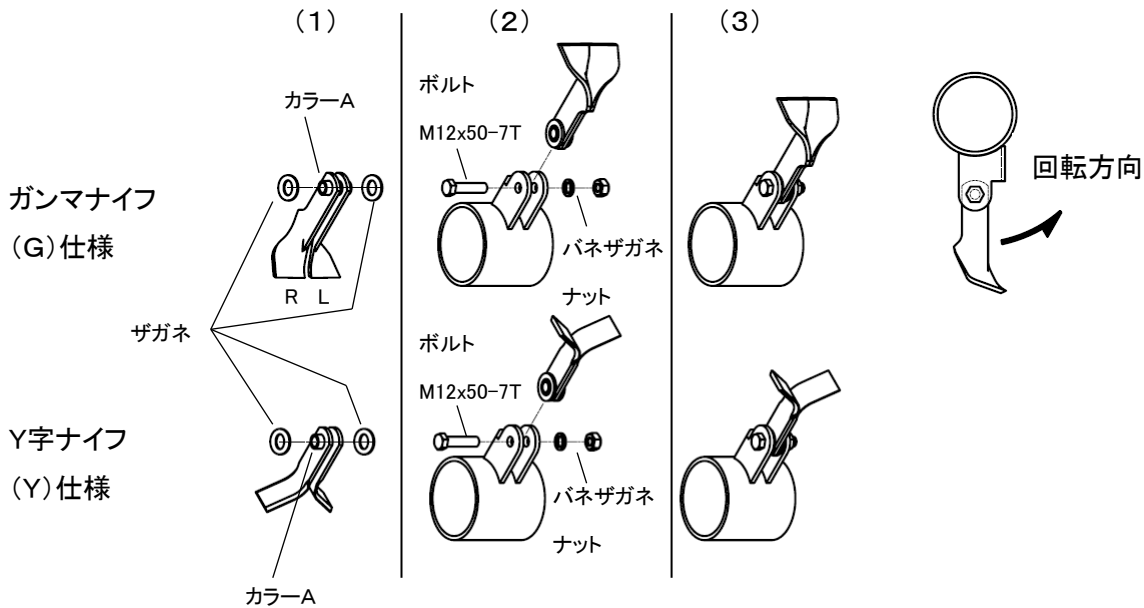
Y字ナイフの場合



ナイフ先端が板の幅の半分程度まで摩耗したら交換または反転時期です。

Y字ナイフは反転して使用可能です。両側摩耗したら交換時期です。

◎ナイフの組みつけについて



- 1) 図のように、ナイフR、ナイフLをカラ- Aに組み込み、両側にザガネを組み込んでください。
- 2) ナイフをホルダーの穴位置に合わせてください。
- 3) 六角ボルトを穴に通してナイフを組み立てし、バネ座金、ナイロンナットでしっかりと締めこんで固定してください。ただし、ローター軸両端のホルダーに取り付けるボルトは専用のボルトになっておりますのでご注意ください。

☆ G仕様(ガンマナイフ)の場合は、ナイフの向きに注意して組立してください。

⚠ 警告

- ナイフ交換時は、必ずPTOを切って、トラクタのエンジンを止めてください。
【守らないと】回転体に巻き込まれ、傷害事故を引き起こします。
- 3点リンクが下がらないように、トラクタの油圧調整バルブを閉じて完全にロックしてください。
また、作業機と地面との間には台を置くなどの落下防止対策をしてください。
【守らないと】機械にはさまれ、傷害事故を引き起こします。
- ナイフ組立後、必ずナイロンナットの締め忘れがないか確認してください。
【守らないと】回転時ナイフが飛び出してケガをするおそれがあります。

◎作業シーズン中

～作業開始前～

ボルト・ナット・ピン類の緩みや脱落がないか確認をして、必要であれば補充して、給油・注油をしてから作業をしてください。

～作業終了後～

水洗いをして汚れを落とし、ボルト・ナット・ピン類の緩みや脱落がないか確認をして、必要であれば補充し、給油・注油してください。

ただし、コントローラは電子部品を使用していますので水濡れ厳禁です。

雨ざらしや洗浄機、水道ホース等での水洗いはしないでください。

◎作業シーズン終了後

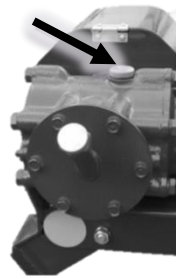
水洗い・乾燥・補修塗装・給油・塗油等を行い、破損部品・脱落部品がある場合は、早めに部品交換・修理をおこなってください。

格納は、湿気や埃がなく、平坦で安全な場所に安定させて保管してください。

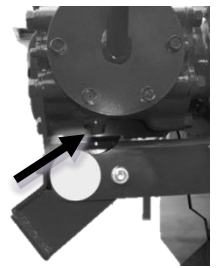
◎オイル交換及びグリース注油について

1. オイルの給油・廃油場所はミッションケースです。
油種 … 自動車用ギヤオイル(#80 ~ #90)
油量 … 0.5L
注意 : 初回の給油は、新品から使用後20時間。
2 回目以降は 50 時間を目安に交換してください

オイル
給油口



オイル
廃油口



2. グリース給油箇所は マストフレーム支点部、ベアリングユニット部、各シリンダ、ワンウェイホルダー部、ベルトテンション支点部、傾斜支点部、スイングフレーム支点部、ゲージローラ部、ユニバーサルジョイントです。

使用グリース …リチウムグリース(工場出荷時;JXエネルギー エピノックグリースAP(N))

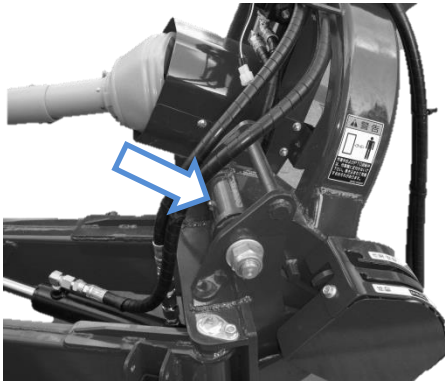
重要 作業機の性能を発揮するため、すべての注油は作業ごと(8時間毎)に注油してください。

全ての注油箇所はリチウムグリースを使用してください。

十分な性能が発揮できなかつたり、破損の原因になります。

(リチウムグリース…工場出荷時;JXエネルギー エピノックグリースAP(N))。

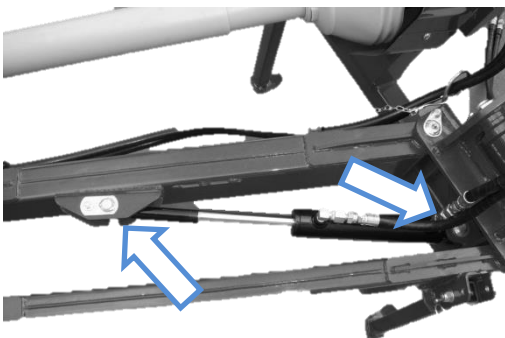
マストフレーム支点回り



ベアリングユニット



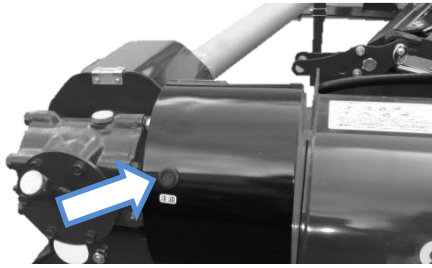
オフセットシリンダ



傾斜シリンダ

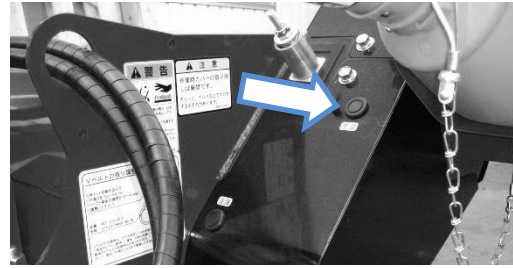


ワンウェイクラッチ



黒いゴムキャップを外して給油する
入れすぎないこと。

テンションアーム



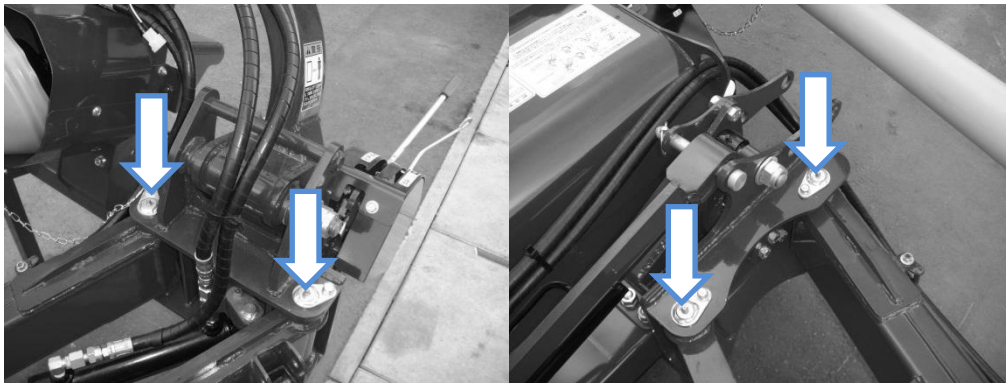
黒いゴムキャップを外して給油する
入れすぎないこと。

重要

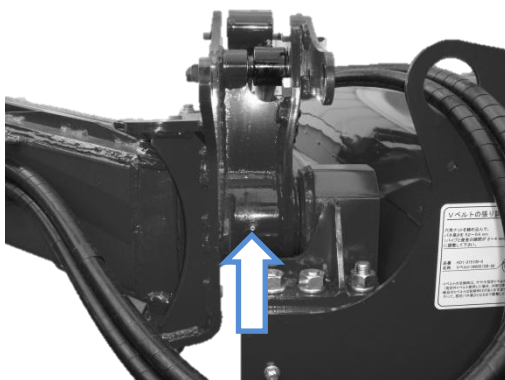
ワンウェイクラッチ、テンションアームに給油する際は、グリースを入れすぎないように注意してください。

入れすぎると、グリースがVベルトに飛散・付着し、ナイフが駆動しなくなる場合があります。

スイングフレーム支点部



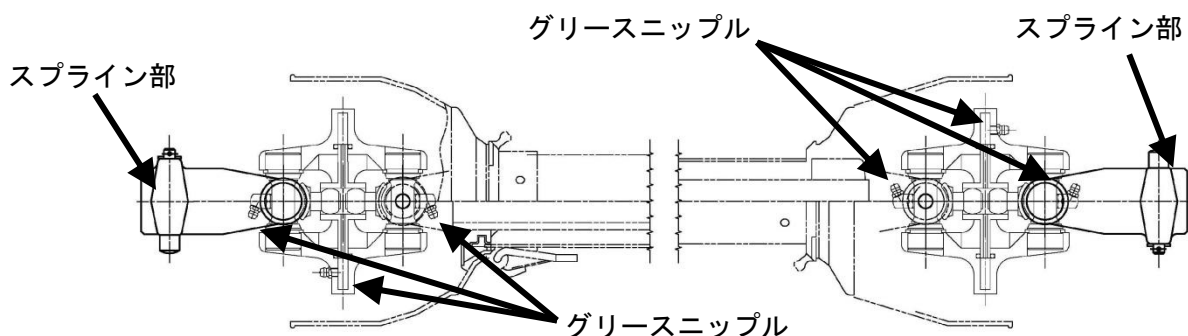
傾斜支点部



ゲージローラ部



ユニバーサルジョイント



⚠ 警告

- 点検・整備をする場合は、交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない、平坦で十分な広さがある、地盤のしっかりした場所でおこなってください。
【守らないと】機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- 点検・整備をする場合は、トラクタのエンジンを停止してからおこなってください。
【守らないと】不意に機械が動き、巻き込まれてケガをします。
- 点検・整備をする場合は、エンジンを停止し、ブレーキをかけてからおこなってください。
【守らないと】トラクタが動きだして、ケガをする恐れがあります。
- 機械の下に潜り込んでの作業はおこなわないでください。
【守らないと】機械が予期せず落下して、死傷事故を起こす恐れがあります。

◎廃油処理について

オイル交換で出た廃油は、河川や下水道、溝、空地などには、絶対に捨てないでください。
環境汚染につながります。
廃油の処分方法については、販売店にご相談ください。

トラブルの原因と処置方法

	現象	原因	処置	ユーザー	販売店
ジョイント	異音発生	ヨーク部のグリース不足	グリース給油	○	○
ミッションケース	オイル漏れ	オイルシールの損傷	オイルシール交換	×	○
		廃油口のシールの劣化	シール座金の交換	○	○
		締付けボルトの緩み	ボルトの増締め	○	○
	異常発熱	オイル量不足	オイル補給	○	○
		オイルシールの損傷によるオイル漏れ	オイルシール交換	×	○
Vプーリ	ロータの空回り	ワンウェイ部のピンが動かない	ホルダーにグリースアップし、スムーズに動くようにする	○	○
		Vベルトが切断、磨耗	Vベルト交換	○	○
		テンションがゆるい	テンションバネを締めこむ	○	○
		Vベルトの伸びすぎ	Vベルト交換	○	○
ロータ	異音がする	ベアリングユニットのグリース切れ	ベアリングユニットにグリースアップする	○	○
	刈取不良	ナイフの磨耗	ナイフの交換	○	○
		ナイフが回動しない	異物などを除去する	○	○
		ガンマナイフが逆向き	ガンマナイフの向きを正しく組み付ける	○	○
コントローラ	操作不能	配線抜け	再度コネクタを接続しなおす	○	○
		ヒューズ切れ	ヒューズの交換	○	○
		バッテリーの電圧不足	バッテリーの充電または交換	○	○
		コントローラ異常	コントローラの交換	○	○

主要諸元

ガンマナイフ仕様

型式	装着の種類	必要外部油圧	作業幅 (mm)	適応トラクタ KW(ps)	作業速度 (km/h)	作業能率 (分/10a)	機体寸法(mm)			爪軸回転数 (rpm)	重量 (kg)
							全長	全幅	全高		
KZL146GS	日農工標準3PリンクⅡ形	複動1系統	1400	36.7 ~51.4 (50~70)	2~4	14~29	1990	1915	1100	PTO 1速 1300	430
KZL146G		複動2系統									
KZL166G		1600	44.1 ~66.2 (60~90)	13~26		1990	1915	460			

Y字ナイフ仕様

型式	装着の種類	必要外部油圧	作業幅 (mm)	適応トラクタ KW(ps)	作業速度 (km/h)	作業能率 (分/10a)	機体寸法(mm)			爪軸回転数 (rpm)	重量 (kg)
							全長	全幅	全高		
KZL146YS	日農工標準3PリンクⅡ形	複動1系統	1400	36.7 ~51.4 (50~70)	2~4	14~29	1990	1915	1100	PTO 1速 1300	430
KZL146Y		複動2系統									
KZL166Y		1600	44.1 ~66.2 (60~90)	13~26		1990	1915	460			

MEMO

購入日 年 月 日

型式

シリアル番号



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111 FAX 0176-22-8607
製品窓口 / 〒034-8618 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170 FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170 FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354 FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631 宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780 FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201 栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911 FAX 0285-45-8910
新潟営業所 / 〒954-0051 新潟県見附市本所1丁目14番17号	TEL 0258-61-1810 FAX 0258-62-3160
岡山営業所 / 〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508 FAX 086-274-9510